



とかちゼオライト

土壤改良剤ゼオライトの販売

作物の育成を増進させる為に土壤改良剤ゼオライトの生産・販売も行っております。

ゼオライトは自然鉱物の一種です。ケイ酸などを多く含有し、塩基置換容量が高く、植物の生育に必要な栄養素を長く地中に保持する能力があり、動植物の発育促進、消臭効果等に幅広く使用されています。



ゼオライトの特徴

沸騰する石

ゼオライトの名称はギリシャ語の「沸騰する石」に由来し、別名「沸石」と言われる鉱物で、火成石の変質によって出来上がったものです。ケイ酸などを多く含有し、塩基置換容量が高く、植物の生育に必要な栄養素を長く地中に保持する能力があります。動植物の発育促進、消臭効果のほかに、無限の可能性を秘めるといわれるゼオライト。その効果への期待は、今後ますます注目される鉱物です。

スponジ状構造でキャッチ

ゼオライトの最大の特性は「多孔質構造」。「多孔質構造」とは、無数の隙間からなるスponジ状構造の事で、この隙間のひとつひとつが強い吸着力を発揮することによって、土壤中の大切な肥料分や水分、ガスまたはアンモニアなどを吸着し流出させません。雨や水やりで流れてしまっている肥料分をしっかりと保つことで、肥料持ちがよくなり、効率よく栄養分が根に吸収されるのです。その効果から、ふん尿処理や水質浄化剤など、様々な用途で安心してお使い頂けます。



ゼオライトの原石



ゼオライトの表面

地力増進法

ゼオライトは、21世紀の鉱物と呼ばれ、昭和59年に制定された「地力増進法」では、法定土壤改良指定資材としてとりあげられました。大地の浄化、水の浄化、空気の浄化に効果が確認され現在多くの研究機関において研究・開発が進められています。

その効果、一目瞭然！

十勝管内中札内村において、小豆（エリモ）の栽培試験をおこないました。主茎太さ、節数、個体あたりの粒度、収量を比較した結果、ゼオライトを入れた方が主茎も太く、節数も多く、粒度も大粒の割合が多い結果になりました。初期の根張りの良さがその後の生育に大きく作用しました。

ゼオライトの特性（保肥力・保水力など）が生かされた結果だと思われます。

ゼオライト施用区
中札内T農場

慣行区 中札内T農場

